

# 事業概要シート

施策 0203 教育環境の充実

《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額  
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	心の教室相談員配置事業	現状維持	予算額		15,398 千円
			《 》		15,626 千円
事業期間	平成21年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	
根拠法令 要綱等			県支出金	千円	
			地方債	千円	
			その他	千円	
			一般財源	15,398 千円	

**【事業の目的・概要・対象】**

大村市不登校対策の一環として実施し、児童生徒の気軽な相談相手として、市内の小・中学校に「心の教室相談員」を配置し、心に悩みを抱える児童生徒の相談体制を整えることで、児童生徒の心の安定を図る。

＜大村市 不登校対策＞

- (1) 教育委員会（教育相談室）
  - ①教育相談員 1名
  - ②スクールソーシャルワーカー（SSW）4名
  - ③適応指導教室（あおば教室）4名
- (2) 小学校（15校）
  - ①スクールカウンセラー（SC）8校に配置
  - ②心の教室相談員 現在13校に配置
- (3) 中学校（6校）
  - ①スクールカウンセラー（SC）全6校に配置
  - ②心の教室相談員 全6校に配置
- (4) その他の機関
  - ①こども政策課
  - ②保護課
  - ③児童相談所
  - ④各医療機関

上記（1）～（4）が連携して子どもたちに関わり不登校対策を講じている。

**【背景】**

- ・市内21の小中学校のうち、19校に各1名ずつ相談員を配置している。
- ・年2回（4月と10月）に研修会を実施。
- ・スクールカウンセラーや教育相談員、SSW、関係機関と連携しながら児童生徒の相談等に対応。

担当課	学校教育課	課長	江浪 俊彦
担当者	木場 隆司	問合せ先	(0957)53-4111(内線373)

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	相談員活用件数	人	8,930	7,687	6,000	6,000	6,000
②							

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	児童生徒の相談員活用率 (相談件数/全児童生徒数)	%	97	84	90	90	90
②							

## 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	15,119	15,000	15,626	15,398	15,398	15,398	91,939
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	61						61
一般財源	15,058	15,000	15,626	15,398	15,398	15,398	91,878
人件費	1,918	1,848	1,091	1,091	1,091	1,091	8,129
職員(人)	0.25人	0.25人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	1.10人
時間外勤務(h)	50h	15h					65h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	17,037	16,848	16,717	16,489	16,489	16,489	100,068

妥当性 (市の関与)	相談員の業務が、児童・生徒と直接ふれあいながら相談にあたるという特殊性を持っているため、市による人的配置支援は必要不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	現在、教育委員会の重点施策として取り組んでいる大村市不登校対策を推進していく上で大きな原動力となる事業でもあり、相談員の活用率も高く、事業成果は高い。
効率性 (コスト)	現時点ではコスト削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり